



奈良県感染症情報

令和3年 第31週(8月2日～8月8日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- L452R 変異株 PCR 検査(スクリーニング検査)の実施状況

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	2.79	(2.65)	➔	➔	➔	➔
2	RS ウイルス感染症	2.41	(2.91)	➡	➡	➡	➡
3	突発性発しん	0.41	(0.44)	➔	➔	➔	⬆⬆
4	咽頭結膜熱	0.35	(0.21)	↗	↗	↗	➡
5	A群溶連菌咽頭炎	0.18	(0.09)	➔	➡	➔	⬆⬆

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **⬆⬆急増**、**⬆増加**、**↗やや増加**、**➔横ばい**、**➡やや減少**、**➡減少**

◆ 県内概況 ◆

第31週の新型コロナウイルス新規感染者数は584名と前週の377名から、大きく増加しました。また、第31週に変異株(デルタ株)に関するスクリーニング検査を実施した検体196件のうち、半数を超える110件がデルタ株疑い(L452R陽性)となっており、当県でもデルタ株の感染者数が大きく増加している可能性があります。変異株は強い感染力を有していますが、個人の基本的な感染予防策は、3密(密集・密接・密閉)や特にリスクの高い5つの場面(飲酒を伴う懇親会等・大人数や長時間に及ぶ飲食・マスクなしでの会話・狭い空間での共同生活・居場所の切り替わり)の回避、適切なマスクの着用、手洗いの徹底などが、これまでと同様に有効です。

県民の皆様には、これまで以上に感染予防策の徹底へのご協力をお願いいたします。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に飲食などで送られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。

場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。

場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話することで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、経カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の際でも注意が必要。

場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。

場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まる可能性がある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

出典: 内閣官房 HP(新型コロナウイルス感染症対策) <https://corona.go.jp/proposal/>

❖ L452R 変異株 PCR 検査(スクリーニング検査)の実施状況 ❖

検査実施週	L452R変異株 PCR検査数	L452R変異株 陽性者数	国立感染症研究所における ゲノム解析結果 (判明数のみ)		
			デルタ株	デルタ株以外の 変異株	解析不能
6月7日 ~ 7月25日	3 (N501Y変異株PCR検査)	-	3 ※	-	-
	238	7	4	0	0
7月26日 ~ 8月1日	98	20	0	0	0
8月2日 ~ 8月8日	196	110	0	0	0
計	532	137	7	0	0

デルタ株: インドで最初に検出された変異株

※N501Y 変異株 PCR 検査を実施し、陰性であった3検体を国立感染症研究所へ送付しゲノム解析した結果、すべてデルタ株であるとの報告が6月21日ありました。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 3 年 第 31 週 8 月 2 日 ~ 8 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	82 (2.41)	26 (2.89)	16 (1.78)	20 (2.86)	20 (3.33)			
咽頭結膜熱	12 (0.35)	2 (0.22)	3 (0.33)	3 (0.43)	4 (0.67)			
A群溶連菌咽頭炎	6 (0.18)	2 (0.22)	1 (0.11)	1 (0.14)	1 (0.17)	1 (1.00)		
感染性胃腸炎	95 (2.79)	21 (2.33)	18 (2.00)	21 (3.00)	32 (5.33)	2 (2.00)	1 (0.50)	
水痘	2 (0.06)	2 (0.22)						
手足口病	4 (0.12)	1 (0.11)	1 (0.11)		2 (0.33)			
伝染性紅斑								
突発性発しん	14 (0.41)	4 (0.44)	3 (0.33)	1 (0.14)	5 (0.83)		1 (0.50)	
ヘルパンギーナ	2 (0.06)			2 (0.29)				
流行性耳下腺炎	1 (0.03)		1 (0.11)					
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	2 (0.20)			2 (1.00)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核2件(奈良市2)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症3件(郡山1、中和2)
4類感染症	
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(吉野1) 梅毒1件(奈良市1)

❖ 第31週のトピックス ❖

◆奈良県広域接種(新型コロナワクチン)特設ページ
<http://www.pref.nara.jp/59054.htm>

◆新型コロナウイルス感染症対策 感染拡大防止にむけた県民の皆さまへのお願い
(奈良県HP)
<http://www.pref.nara.jp/59047.htm>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男女																						1
RSウイルス感染症	男女	1	5	25	5	7	3															46	1471
咽頭結膜熱	男女	5	4	11	9	3	2	1	1													36	1284
A群溶連菌咽頭炎	男女			3	1	1																6	222
感染性胃腸炎	男女			1	5																	6	162
水痘	男女								1		1											2	216
手足口病	男女																					4	176
伝染性紅斑	男女											2										56	1607
突発性発しん	男女		2	15	9	8	2	6	4	1	2		4	1	2							39	1393
ヘルパンギーナ	男女		3	9	9	4	3		1	1		1	1	2	5							1	30
流行性耳下腺炎	男女												1									1	27
急性出血性結膜炎	男女			2																		2	42
流行性角結膜炎	男女			1			1															2	23
細菌性髄膜炎	男女																						4
無菌性髄膜炎	男女																						3
マイコプラズマ肺炎	男女																						2
クラミジア肺炎	男女																						1
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女																						2

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

